

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2024年8月）議事録

日時：2024年8月20日(火) 午後6時00分～8時00分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、

中田由夫常務理事、岡浩一郎、甲斐裕子、

後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、竹森 重、

田畑 泉、田村好史、内藤義彦、中里浩一、

成田和穂、浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、

町田修一、宮川俊平、宮下政司、宮地元彦各理事、

家光素行、石井好二郎各監事、

松山郁夫第78回大会長、

山津幸司第78回大会実行委員長、

中村雅俊第78回大会事務局長

門間陽樹総務副委員長、山北満哉総務委員

（総務委員会の議事中のみ出席）

欠席者：赤間高雄、井上 茂、勝川史憲各理事、

清田 寛、小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. 令和6年度庶務報告に関する件について

（中田常務理事）

井上総務委員長が欠席のため、中田常務理事より資料に基づき、令和6年度庶務報告がなされた。

2024年7月31日現在、会員総数は3,305名（昨年度から126名減少）、評議員は491名（内医師62名、非医師429名）、賛助会員5団体、新入会員215名（昨年度から168名増加）、退会者341名（内自然退会160名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、自然退会とすることが承認された。自然退会者リストに載っている会員には、あらかじめ会費納入の催促を行うこととした。

3. 令和6年度会計報告に関する件について

（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和6年度決算について、報告された。

収入の部：会費収入は33,595,600円（内正会員30,800,000円）であり、収入合計は49,001,609円となった。

支出の部：支出合計額は45,497,678円となった。当年度収支差額は3,503,931円の黒字決算となった。

4. 令和6年度事業報告に関する件について

（永富理事長）

資料に基づき、令和6年度事業の概要が報告された。

1) 総務委員会（門間総務副委員長、山北総務委員）

- 第80回大会（青森）大会長の推薦：津田英一先生（弘前大学教授）

2. 学会規定の公開に関する検討

3. 定款の改訂および評議員制度に関する検討

4. 部会制・若手の会の設立

5. 会員情報の収集に関する検討

6. 会員の状況の分析

2) 編集委員会（後藤編集委員長）

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 12のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 13のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 72のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 73のNo. 1, No. 2, No. 3

①電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

②JPFISM掲載論文リストのメール配信

2. 「JPFISM」投稿規定を改訂（1/31）

[改訂箇所]

(1) 「Aims and Scope」から「international」の語句を削除

(2) 「Availability of data and materials」にJ-STAGE Data (see below) or otherを追記し、関連項目としてJ-STAGE Dataを新設

(3) 「Advertising Policy」を追加

3. 日本体力医学会ホームページ「新URL」への切り替えのお知らせ（2/1）

4. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」2023年6月～2024年3月

・中間報告Webミーティング（12/20）、最終報告書の提出（3/8）

5. 特集号について（5/20理事会にて）

・特集号の掲載料の著者負担を免除することが承認された。

・次年度予算でJPFISM、体力科学の特集号の掲載（各1回）も学会予算として認められた。（次年度予算に関しては、9月の大会での社員総会で正式決定）

3) 学術委員会（町田学術委員長）

佐賀大会において4つのセミナーを企画・運営

佐賀大会において一般市民を対象とした公開講座を企画

(1) スポーツ医学研修会委員会

(中里スポーツ医学研修会委員長)

スポーツ医学研修及び日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号の在り方について検討を行った。

スポーツ医学研修の在り方については継続審議中である一方、本年度はスポーツ医学研修の代替として佐賀大会における講演によるスポーツ医学研修会を開催予定。（講演者：岡本孝信先生（日

体大))

日本体力医学会健康科学アドバイザー[®]称号継
続者として9名(うち終身1名)を継続とした。

(2) 学会賞選考委員会(宮地学会賞選考委員長)

第37回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

4) 財務委員会(宮川財務委員長)

令和6年度の収入から、各委員会の活動の適正な
運営が行なえるよう活動費を配分した。

令和7年度については令和6年度の活動を踏まえ
た予算案の作成を行なった。

5) 利益相反委員会(中田常務理事)

勝利利益相反委員長が欠席のため、中田常務理事
より資料が供覧された。

1. 日本医学会連合研究倫理委員会、利益相反委員
会他の主催による研究倫理教育研修会(2024.5.7)
に、日本体力医学会として出席。「日本医学会連合・
日本医学会利益相反委員会の経緯と組織COIの在
り方」を聴講し、日本医学会および所属学会の組
織COIへの取り組み状況について情報を得た。

2. 組織COIに規定を設けている学会が現状ではま
だ少ない状況が理解された。引き続き、他学会の
組織COIの取り組みについて情報収集し、日本体
力医学会での取り組み方針を検討する。

6) 評議員選考委員会(浜岡評議員選考委員長)

1. 令和5年度評議員候補者5名を選定し、理事会、
評議員会兼社員総会にて承認を受けた。(男性:
5名,女性:0名)

2. 令和6年度評議員候補者として15件の申請が
あり、Web会議にて慎重に審査したところ全員
「適格」と判定した。(男性:12名,女性:3名)

7) 渉外委員会(宮下渉外委員長)

【国際学術事業】

1. 「体力科学」での渉外委員会所掌の2022年度日
本体力医学会国際学術交流奨励賞受賞者の学会加
参加報告

①2022年4月~2023年3月31日までの国内外で
開催された国際学会(5カ国以上が参加する学
会)での発表を評価

②筆頭演者としてオリジナルな演題を発表してい
る若手を中心とする学会会員

③最優秀賞1名,優秀賞3名(口頭30万円,20万円,
ポスター15万円,10万円)

④受賞者

1) 口頭最優秀賞 田淵絢香・電気通信大学
ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacologi-
cal Inhibition of Ryanodine Receptors Im-
mediately After Eccentric Contractions Ex-
ercise Effectively Reduces Exercise-induced
Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle

2) 口頭優秀賞 土橋康平・北海道教育大学
19th International Conference on Environ-
mental Ergonomics Niagara Falls Canada:
Hypocapnic hyperventilation and hypoxia
additively increase anaerobic metabolism
during supramaximal exercise

3) ポスター最優秀賞 塩谷彦人・早稲田大学

スポーツ科学学術院

40th Conference of the International Society
of Biomechanics in Sports Liverpool UK: As-
sociations between exercise-induced flatten-
ing of foot arch and fatigue of extrinsic and
intrinsic foot muscles

4) ポスター優秀賞 竹田怜央・電気通信大学
18th International Biochemistry of Exercise
Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH
improved cellular senescence in adipose tis-
sues and insulin sensitivity in aged mice

5) ポスター優秀賞 曾谷祐太・電気通信大学
18th International Biochemistry of Exercise
Conference, Toronto, Canada: Mathematical
modeling of skeletal muscle protein synthe-
sis pathway activated by resistance exercise

6) ポスター優秀賞 藤本知臣・新潟医療福祉
大学健康スポーツ学科
19th International Conference on Environ-
mental Ergonomics, Niagara Falls Canada:
TRPM8 contributes to cutaneous vasocon-
striction during local, but not whole-body
cooling in humans

2. 韓国運動生理学会2024 KSEP交流シンポジウ
ム シンポジスト派遣

①Joint Symposium between JSPFSM and KSEP

②2024年4月11日(木)~13日(土)

場所: Jeju National University (韓国)

③座長: 秋本崇之(早稲田大学)

渉外委員会委員による推薦を経て、以下の2名の
日本体力医学会会員を交流シンポジウムに派遣

④演者1: 渡邊航平(中京大学)

Effects of exercise and nutritional supplementa-
tion on motor unit activation properties in
older adults

⑤演者2: 相澤勝治(専修大学)

Mechanism of exercise-induced local androgen
production in skeletal muscle

⑥今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換
本学会大会における交流シンポジウム開催検討

3. 2024年日本体力医学会ECSSとの交流セッショ
ンの佐賀大会での発表のための選考

①2024年4月26日(金)

②渉外委員会委員による推薦を経て、以下の2名
の日本体力医学会会員を佐賀大会でのECSS側
の派遣者との交流に選出

西川太智(中京大学)

前大純朗(立命館大学)

4. 2024年度日本体力医学会若手研究奨励賞(国際
学術交流)の佐賀大会での発表のための選考

①2024年4月30日(火)

②17名より応募があり、渉外委員会委員による審
査の結果、以下の7名を佐賀大会での最終審査
のために選出

渡邊大輝(大阪体育大学)

古市泰郎(東京都立大学)

梅原潤（関西医科大学）
松村哲平（立命館大学）
永田康喜（国立国際医療研究センター）
川島将人（川崎医療福祉大学）
平賀大一（筑波大学）

【国内学術交流事業】

1. 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」との連携

- ①2023年8月17日(木)
- ②書籍「フレイル・ロコモのグランドデザイン」の出版（同志社大学の石井好二郎先生に依頼）

2. 日本生理学会との合同シンポジウム

- ①第101回日本生理学会合同シンポジウム企画
- ②2024(令和6)年3月28日(木)～30日(土) 北九州国際会議場・西日本総合展示場（AIM）
- ③IS08e 他学会連携委員会企画
身体不活動研究から切り開く健康科学の新展開～骨格筋研究における最新知見～
共催：日本体力医学会
- ④オーガナイザー：吉原利典（順天堂大学）
富賀裕貴（福岡大学）
- ⑤講演者：吉原利典（順天堂大学）
富賀裕貴（佐賀大学）
藤野英己（神戸大学）
寛佐織（順天堂大学）

8) 倫理委員会（成田倫理委員長）

1. 佐賀大会の一般演題登録者への倫理的手続きについてのアンケート調査実施

9) 広報委員会（田畑広報委員長）

1. 学会ホームページの管理・運営

10) 男女共同参画推進委員会

（甲斐男女共同参画推進委員長）

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
2. 佐賀大会における公募シンポジウムにおける男女共同参画に関する提言
3. 佐賀大会における企画の検討

11) 全国地方会実行委員会（岡全国地方会実行委員長）

各地方会における課題の把握

12) 将来構想検討委員会（永富将来構想検討委員長）

1. 各種委員会委員長および委員長推薦者で構成することを決定
2. 幅広く会員の要望を聴くオンラインのウェビナーを計画中
3. 執行部体制を理事長・副理事長・常務理事・総務委員長・学術委員長・編集委員長・財務委員長で構成し、随時学会運営に関することを検討することとした。

13) プログラム委員会（須永プログラム委員長）

1. 学会大会での本部企画プログラムの立案・運営

5. 令和7年度会計報告（予算）について

（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和7年度の予算案について報告された。

収入の部：現在の会員数および会費納入率実績（90%）に基づいて試算し、正会員会費は

28,827,000円、会費収入全体では31,433,500円として計上した。2024年は大会開催方式が例年通りに戻ったことなどにより、収入額合計は69,210,000円として計上した。

支出の部：大会開催方式が例年通りに戻ったこと、大会本部企画の充実を図ったこと、スポーツ医学研修会が昨年同様中止となったことなどにより、支出合計予算額が73,177,000円となった。当年度収支差額は△3,967,000円となる見込みである。

6. 評議員推薦に関する件（浜岡評議員選考委員長）

資料に基づき、評議員選考委員会において候補者15名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、令和6年度の評議員候補者として15名（内、女性3名）を評議員に推薦することが承認された。

7. ミズノスポーツ研究助成の推薦について（永富理事長）

資料に基づき、ミズノスポーツ振興財団のスポーツロジック研究助成への学会員の推薦の手続きについて提案され、学会員に周知して9月中旬に申請希望者を募り、応募状況により必要に応じて10月中旬に選考を行うことが承認された。また、今後の各種選考については、学会賞選考委員会を中心として体制を整備して実施することが提案され、承認された。

【報告事項】

1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について（中里スポーツ医学研修会委員長）

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告がなされた。日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者9名の氏名リストが掲示され、承認された（内、終身称号者は1名）。

2. 各種委員会報告

1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況 <投稿状況> (2023年9月1日～2024年7月31日)

「JPFMSM」誌：新規投稿50編

（内海外7編、特集号2編）

※前年同期間：新規投稿34編（内海外7編）

7/31現在、審査中9編（採択20編、不採択18編、取下げ2編、採択後取下げ1編）

※受付不可7編（投稿規定に沿わない等で原稿返却、海外7編）

「体力科学」誌：新規投稿33編

※前年同期間：新規投稿23編

7/31現在、審査中5編（採択10編、不採択15編、取下げ3編）

<発行予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 13, No. 5 (2024年9月25日発行)

Short Review 1編, Regular Article 2編

- Vol. 14, No. 1 (2025年1月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 1編
- Vol. 14, No. 2 (2025年3月25日発行)
Regular Article 3編
- Vol. 14, No. 3 (2025年5月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 1編
- Vol. 14, No. 4 (2025年7月25日発行)
Regular Article 2編, Short Communication 1編
- Vol. 14, No. 5 (2025年9月25日発行)
Short Communication 1編 + (今後の受理論文)
「体力科学」誌
- Vol. 73, No. 5 (2024年10月1日発行)
原著 2編 + (今後の受理論文)

2. 日本体力医学会ホームページ「旧URL」閉鎖について

9月の日本体力医学会大会終了後UMINへの手続き完了次第、旧URLを閉鎖します。
(2/1に日本体力医学会会員に学会事務局よりメール配信済)
旧URL : <http://www.jspfsm.umin.ne.jp>

3. 第78回(佐賀)大会の進捗状況
(山津第78回大会実行委員長)

山津実行委員長より、第78回(佐賀)大会の進捗状況が報告された。

4. 第79回(滋賀)大会の進捗状況(田畑第79回大会長)
田畑大会長より、第79回(滋賀)大会の準備状況について報告された。

5. 佐賀大会一般演題登録時の倫理アンケート結果について(成田倫理委員長)

資料に基づき、佐賀大会での倫理アンケート実施の経緯と集計結果について報告された。大会演題登録時の倫理承認の義務化を倫理委員会で検討予定であることが報告された。

6. 日本医学会連合TEAM事業「脳心血管病予防に関するリスク管理チャートの改訂と発行後の周知普及」(日本動脈硬化学会)について(小熊副理事長)

資料に基づき、日本動脈硬化学会からの協力依頼と日本体力医学会の回答内容(案)について報告された。

7. 日本医学会分科会活動報告について(小熊副理事長)

資料に基づき、日本医学会へ提出した分科会活動報告について説明された。

8. その他

1) 学会関連企業との関係構築について(永富理事長)
日本体力医学会の運営に貢献されている賛助会員や大会の協賛企業への謝意を示す機会を設けることが提案された。

2) アジアキネシオロジー学会への協力について(永富理事長)

アジアキネシオロジー学会より依頼があり、理事会および各種委員会で連携しながら協力する予定であることが報告された。